

令和2年(2020年)9月29日(火曜日)



腰切不動尊で例祭
清掃し読経、礼拝
三島
三島市の腰切不動尊
で28日、例祭が開かれ

た。管理するNPO法人グラウンドワーク三島の関係者が清掃作業を行い、読経と礼拝をささげた。腰切不動尊は1633年に腰から上だけの状態で発見されたと伝わる石仏がまつられている。腰から下の病气やけがの治癒、安産などの御利益があると考え、かつて地元の田町では「田町のお不動さん」として親しまれて

いたという。戦後間もないころまでは大祭に大勢の住民が足を運んでいたが、その後は管理が行き届かずのみ堂や近くの井戸が廃れ、1999年に同NPOが受け継いで管理を続けている。

例祭ではみ堂の中を清掃し、のぼり旗を掲げてきれいにした後、関係者が経を読み上げた。NPOの小松幸子理事長は「地元には御利益があったという人もいる。今後も地域の文化財として守り続けていく」と話した。

のぼり旗を立てて清掃する関係者

三島市の腰切不動尊